

釜石市視察研修レポート

～ 国内先進地（災害復興）視察研修を終えて ～



(公財)岐阜県市町村振興協会
市町村研修センター



国内先進地（災害復興）視察研修の実施について

東日本大震災より5年が経過しました。

この5年間岐阜県市長会より、県内21市の協力のもと延べ153人の職員が岩手県釜石市へ派遣され、保健業務、教育施設整備、公営住宅建設、用地管理、税務業務など様々な業務を手伝い、復興の支援をしてまいりました。

このたび、過去4年間にこの釜石市への支援に派遣された方を中心に、現在の復興状況の視察と、復旧・復興に関しての苦労や、その苦労の中で生まれた知恵や工夫、また、いまだ残る課題などについてご指導をいただくことを目的として、今年度の先進地視察研修を実施しました。研修生（参加者）には、被災時の状況などを事前研修したうえで、現地の釜石市職員の皆様より現地視察も含めて講義いただけてきました。

現地で講義、視察研修を受けたときの資料や、視察研修に参加された研修生のレポートをまとめましたので、震災の悲惨さや復興の困難さを共感していただくとともに、今後起こりうる災害時の復興や復旧のための知識の一つとしていただければと思います。

最後になりますが、復興業務に忙しい中、今回の視察研修を快く受け入れていただきました釜石市職員の皆様に感謝とお礼を申し上げますとともに、熊本大地震により被害を受けられました市町村を含め、東日本大震災において被災されました市町村の早期の復興と、今後の発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



<写真：津波記憶石>
釜石市唐丹地区に建立された石柱。東日本大震災の津波の状況を後世に伝えようと、子供たちのメッセージが刻まれています。

目次

1 事前研修 1

- ・ 災害復旧・復興対策実務講座

2 研修内容 2

- ・ 参加者名簿
- ・ 研修先地図
- ・ 研修日程

3 研修資料 9

- ・ 釜石市の復興状況について
- ・ ラグビーワールドカップ2019 釜石開催について

4 研修生レポート 47

- ・ 富田 肇
- ・ 黒谷 渉
- ・ 山田 正和
- ・ 中野 剛
- ・ 大山 英朗
- ・ 市川 福太郎
- ・ 神野 裕崇
- ・ 尾崎 啓介
- ・ 道下 顕司
- ・ 河村 務
- ・ 飯沼 光二
- ・ 林 晃弘
- ・ 兒玉 靖
- ・ 高橋 富士夫

5 その他資料 76

災害復旧・復興対策実務講座 ～被災地の自治体職員に見た知恵と工夫～

講師：名古屋大学 減災連携研究センター
特任准教授 阪本 真由美 先生



平成28年8月4日

釜石市への視察研修が有意義なものとなるよう、現地での視察のポイントを押さえておくことを目的として、参加者全員が事前研修として「災害復旧・復興対策実務講座」を受講し、釜石市の現在の復興状況に至るまでの業務の実情、また関係組織や住民へのかかわり方などから、被災地の自治体職員に見た知恵や工夫を聞きました。

「1. 災害発生後の被災自治体の業務の実情とその対策」

東日本大震災・釜石市	釜石市	釜石市
<p>■市民課における業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械自体は大丈夫だったが、停電のため使用不可。 ・最初に再開した窓口業務は「死亡届の受付」。受付件数は毎日70件～80件程度で、死者数が分からないため、順次死亡届が届けられる。火葬許可証については指写式のものを使用し、手書きで対応。 ・件数が膨大であったため市民課経路の手伝いが必要だった。(当時市民登録係の平職員は10名(産休などの休職中除く)) ・死亡届には医師の診断書が快答書が必要となる。⇒それまでのステップが数多い ・ローテーションを組んで休めるほどの人員はいなかったため、休みが取れる体制になっただけは5月頃。初めは日曜のみのみだった。 ・システムが動けばもっと早く再開できた。 	<p>■保健課連理における業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健センターに約1,000人の住民が避難した。 ・「妊婦」——手持ちの紙台帳から読み出し、直近の予定日の近い妊婦から連絡を取って状況確認。若い人は携帯電話を持っているので連絡が付きやすかった。 ・「保健衛生活動」——3月20日より避難所に保健師を派遣し、1日1回は避難所を回った。毎日避難所の情報交換を行った。 ・「医療給付」——3月中に打合せを行い発行。システムと平行して紙台帳を基にしていたことが多かった。 ・「母子手帳」——再交付が必要だった。3月30日にかかりの人数が母子手帳を取りに来た。その日に台帳を作り、再交付することとした。妊婦の他にも小学校6年生までの方も対応。年度末だったため在庫もなく、前年度のものも使用した。母子手帳の購入については、ユニセフからの支援を受けた。 ・保健師16名、保健師連理4名、主任1名、地域の交際センター7名、包括センター4-4名、地域福祉課2名(障害者支援)。外部から支援に来た保健師はトータル10名程度。 ・システムに繋がらずに紙ベースで台帳を持っておくことや、医師会や関係機関と普段からつながりを持っておくことが大切。 	<p>■納税課における業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「罹災証明の発行」——4月1日に罹災証明を発行すると決めたため、順に合うように調査。 ①最初に漏水検査を調査。 ②3月28日から、市役所係5人、戸数係4人、収納係4人を集めて現地調査を開始。8時から16時までの時間帯で調査し、1週間で終了。 ③その後には税務課職員で行い、罹災証明の発行は税務課職員と市民課の協働で行った。 ④発行については、整理券を配って対応したが間違が発生したため1時間ごとに時間を区切って整理券を配った。調査結果への不満については、税務課の4人体制で、2人でクレーム対応窓口として対応し、残り2人で再調査を行った。 ⑤GW以降に地産被害の調査に入った。調査をする件数以上に申請があるため、調査には10月頃までかかった。1日に調査できる件数に限りがある。 ⑥被害調査は、近隣の状況を見て平成24年4月に打ち切った。罹災証明の発行についてはは今でも継続。 ・当時税務課は25人。 ・罹災証明の発行については、システムは導入しておらず、エクセルで様式を作成。

「2. 行政と住民との関係の築き方」

避難所	トイレ問題	避難所での医療・介護スペースの確保
	<p>トイレは、20人に1つあるとよい。 水が止まると、トイレが使えなくなる。 穴を掘ってトイレを急造設置することもトイレは十分な数を確保する。 必ず要介護者用のトイレを確保する(仮設用のトイレ今はある) トイレは、男子トイレと女子トイレを分けておく。</p>	

釜石市の被災状況や、災害発生後の業務再開まで苦労や避難所設置・運営の話のほか、熊本地震の話などから、被災地では被災直後より、時間が経つにつれて親族からの問い合わせやマスコミ対応など、通常の業務の再開に災害時の業務も加わり、想定以上に膨大になっていくことを学ぶことができました。

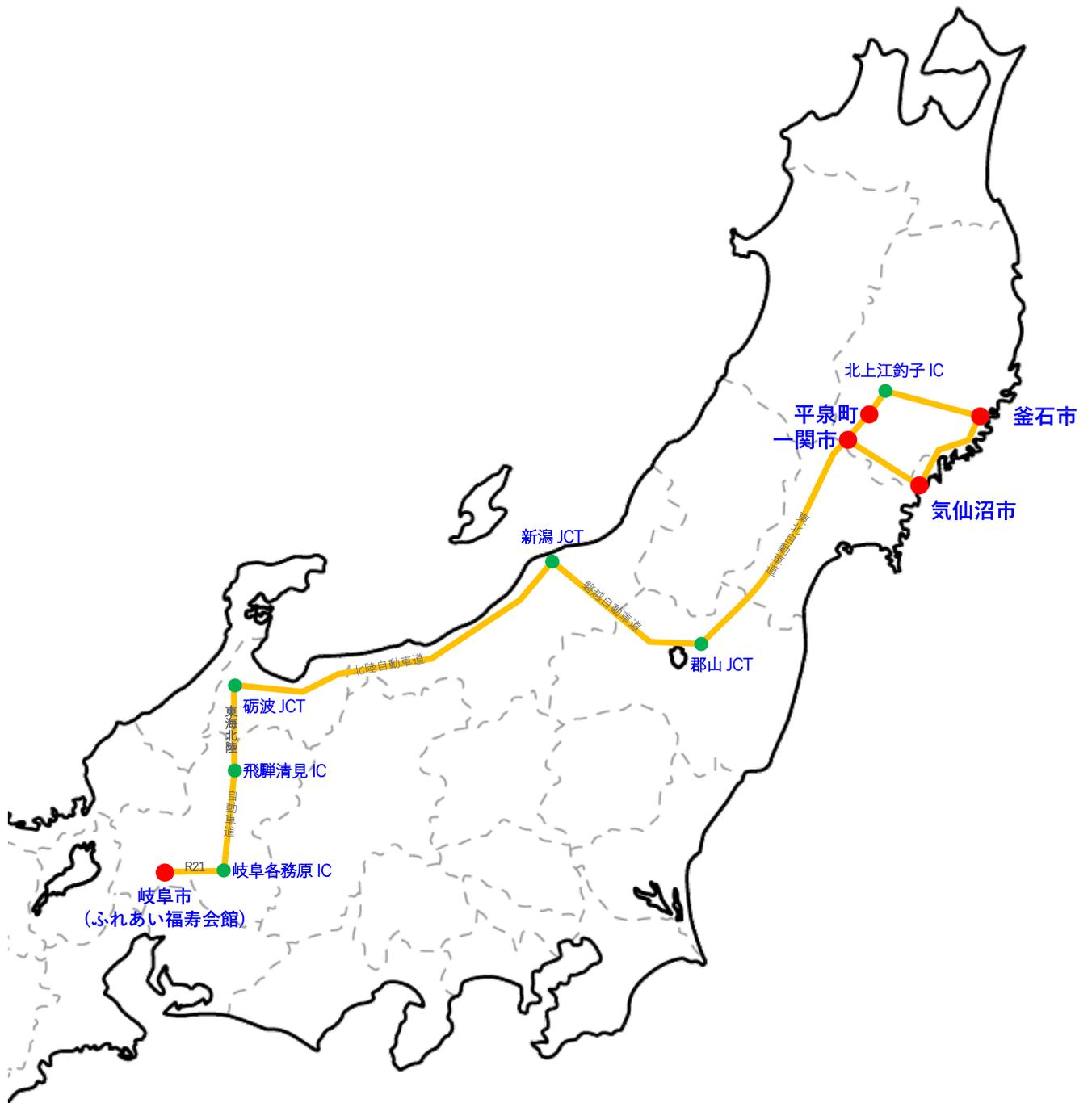
また、被災した際には住民の対応は当然のことですが、行政が災害を受けた場合の対応(情報収集手段や職員の食料)についても、備えておく必要性も学ぶことができました。

参加者名簿

NO	団体名	所属	職名	氏名
1	大垣市	建築課	主幹	とみた はじめ 富田 肇
2	高山市	都市整備課	主幹	おざき けいすけ 尾崎 啓介
3	高山市	危機管理室	主幹	くろだに わたる 黒谷 渉
4	高山市	上水道課	主査	みちした けんじ 道下 顕司
5	多治見市	建築住宅課	主査	やまだ まさかず 山田 正和
6	多治見市	教育総務課	総括主査	かわむら つとむ 河村 務
7	各務原市	防災対策課	課長補佐	なかの つよし 中野 剛
8	各務原市	河川公園課	技師	いいぬま こうじ 飯沼 光二
9	各務原市	道路課	技師	おおやま ひであき 大山 英朗
10	本巣市	企画財政課	課長補佐	はやし あきひろ 林 晃弘
11	本巣市	企画財政課	主査	いちかわ ふくたろう 市川 福太郎
12	海津市	危機管理課	課長補佐	こだま やすし 兒玉 靖
13	輪之内町	総務課	主事	じんの ひろたか 神野 裕崇
14	揖斐川町	子育て支援課	課長補佐	たかはし ふじお 高橋 富士夫

上記 14 人の外、岐阜県市長会（2 人）岐阜県町村会（1 人）、研修センター（3 人）が参加

研修経路



8月24日（水）… 研修初日

7時	7:30	ふれあい福寿会館を出発	 <p>ふれあい福寿会館 市町村研修センターの研修会場でもある、ふれあい福寿会館が出発地です。</p>
8時			
9時	9:40	高山市の受講者と合流	 <p>東海北陸自動車道→北陸自動車道→磐越自動車道→東北自動車道と乗り継いでいきます。</p>
10時			
11時			
12時		車中昼食	
13時			
14時			
15時			
16時			
17時		安達太良サービスエリアで夕食	
18時			
19時			
20時			
21時	21:00	岩手県北上市に到着（宿泊）	 <p>安達太良サービスエリア 東北地方で最大規模のサービスエリア。日本百名山にも選定された安達太良山を眺めることができます。</p>
22時			

8月25日（木）… 研修2日目

7時			
8時	8:00	釜石市へ向けて出発	
9時	9:50	釜石市役所に到着	
10時	10:00	市役所にて講義を受講	 <p>講義の様子</p> <p>復興推進本部事務局 係長 金野尚史 様 総務企画部 RWC2019 推進室 次長 増田久士 様 による講義の様子。</p>
11時		・被災状況、土地整備などの進捗状況や新たな取り組みと、ラグビーワールドカップ2019開催に至るまでの説明を講義いただきました。	
12時	12:00	釜石市職員・派遣職員と昼食会	
13時		・派遣職員8人とその上司に当たる釜石市職員との昼食会でした。	
13時	13:30	現地視察に出発	 <p>復興公営住宅</p> <p>2015 グッドデザイン賞*を受賞した復興住宅で、隣と繋がったベランダなど、失われたコミュニティの再生などを目指した住宅です。</p>
14時		・復興公営住宅（市営住宅）	
15時		・鵜住居地区学校等建設現場	
15時		・唐丹町大曾根の津波記憶石	
15時		・駅前（鉄のモニュメント・復興の鐘）を視察してきました。	
16時			
17時	17:30	視察研修終了	
18時	18:00	釜石市職員・派遣職員との交流会	
19時			
20時			
21時	21:00	釜石市内に宿泊	 <p>鵜住居地区学校等建設現場</p> <p>盛り土をした高台の上に小中学校を建設中。岐阜県内からの派遣職員も関わっています。</p>
22時			

※(公財)日本デザイン振興会が運営する、国内唯一の総合的なデザイン評価・推奨の仕組みです。

8月26日（金）… 研修3日目

7時			 <p>三陸鉄道（南リアス線） 三陸海岸を縦貫する、第三セクター方式の鉄道で、津波により全線不通でしたが、2014年4月に全線復旧しました。</p>  <p>気仙沼復興商店街 震災後の4月中旬から開催されていた「青空市」が母体となり、震災前に気仙沼市南町と魚町で営業していた52店舗が軒を連ねます。</p>  <p>中尊寺 天台宗東北大本山の寺院。2011年には仏国土を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群の一部として世界遺産にも登録されました。</p>
8時	8:30	ホテルを出発し徒歩で釜石駅へ	
9時	9:17	三陸鉄道（南リアス線）釜石駅から乗車	
10時	10:09	三陸鉄道（南リアス線）盛駅で下車	
11時	11:00	陸前高田市・奇跡の一本松を視察	
12時	12:00	気仙沼市 復興商店街を視察	
13時	13:30	一関市に到着（昼食）	
14時	14:00	自由視察（中尊寺見学）	
15時			
16時			
17時			
18時	18:00	最後の夕食会	
19時	19:00	一関市を出発（バス車中泊）	
20時			
21時			
22時			

8月27日（土）… 研修4日目

4時	4:30	高山市到着・一部解散	
5時			
6時	6:15	ふれあい福寿会館到着	
	6:30	解散	
7時			

◆その他の視察場所



奇跡の一本松

津波に耐えて奇跡的に残った一本松でしたが、海水により深刻なダメージを受け、平成24年5月に枯死が確認されました。市民のみならず全世界の人々に復興のシンボルとして親しまれてきた一本松は、モニュメントとして保存されています。

唐丹町大曾根の津波記憶石 →

小学4年生から中学3年生までの91名の子どもたちが、津波に対する教えを自分たちの心の言葉で残した石碑だそうです。とても心に残るメッセージがたくさんありました。

ミッフィーカフェかまいし ↓

'13年、オランダ大使館と東北大学で街造りの会議を開いた際、震災で被災した釜石の町にもう一度色彩を取り戻そうと、オランダ大使館の協力のもとに、'15年12月にオープンしたそうです。



研修資料

釜石市の復興状況について

釜石市の
復興状況
について

大町1号復興公営住宅



平成28年8月25日
釜石市復興推進本部

目次

- 1) 釜石市の被災状況
- 2) 21地区の土地整備の在り方について
- 3) 主な事業の進捗・課題について
- 4) 今後の新たな取り組みについて

1) 釜石市の被災状況

釜石市の概要

- 面積 441.43 km²
- 人口 35,547人
(H28.3末住民登録)

<殖産興業黎明の地の証>

- ・安政4 (1857) 年
日本で最初に洋式高炉連続出銹 (12/1)
- ・明治5 (1872) 年
日本で最初の海図：釜石港
- ・明治7 (1874) 年
官営製鉄所：民営を経て現在、新日鐵住金
- ・明治13 (1880) 年
日本で3番目に開通：釜石鉄道 (釜石～大橋)



岩手県釜石市

震源



▲被災前の釜石港

2

1) 釜石市の被災状況

釜石市の被災状況



中心市街地 (東部地区)

□人的被害

- 死亡者数 1,062人
(行方不明者数152人、関連死認定者数104人含む)
- 避難者数 市内避難 9,883人 (H23. 3.17最大)
内陸避難 633人 (H23. 5.9最大)



漁村集落 (唐丹町小白浜地区)

□家屋被害

- 住家数 16,182戸のうち 4,705戸が被災 (29%)
- ※被災の内訳 全壊 2,957戸
大規模半壊 395戸
半壊 305戸
一部損壊 1,049戸

□産業関係

- 市内全事業所 2396事業所のうち
浸水範囲の事業所数 1,382事業所 (57.7%)
- 漁業関係 市内3漁港の漁船1,734隻のうち
1,692隻が被災 (97.6%)

3

- 11 -

1) 釜石市の被災状況

被災世帯に対する意向調査

被災世帯
約4,000世帯

内訳※予定も含む

- 自立再建 約1,800世帯
- 復興住宅 約1,100世帯
- 補修・貸借等 約800世帯
- その他 約300世帯
- 未決定 約50世帯

現在、生活支援室において、追跡調査中

4

1) 釜石市の被災状況

釜石市の復興事業の組織体制

	組織体系	役割・ミッション	
復興推進本部	事務局 (復興の司令塔機能)	<input type="checkbox"/> 復興推進本部及び復興事業に関わる部署の統括	復興交付金の庁内調整 まちづくり協議会及び同盟会運営
	釜援隊 ※復興支援員	<input type="checkbox"/> 市と連携し、住民・自治体・企業・NPOなどの調整	復興計画に係る住民の合意形成支援など、地域のコーディネーター的役割
	都市整備推進室	<input type="checkbox"/> 被災した21地区の宅地整備	区画整理事業・防災集団移転事業(高台移転)などの住宅基盤整備
	復興住宅整備室	<input type="checkbox"/> 復興公営住宅整備	コミュニティづくりに配慮した復興公営住宅の建設
	生活支援室	<input type="checkbox"/> 被災者や仮設住宅入居者の対応	仮設住宅の被災者対応 意向不明者への接触・意向確認
他部署	商工労政課	<input type="checkbox"/> 被災した商業者の再建	フロントプロジェクト1(イオン前街区) フロントプロジェクト3(魚河岸地区)
	水産課	<input type="checkbox"/> 防潮堤整備	市管理漁港における防潮堤の災害復旧による整備
	建設課	<input type="checkbox"/> 道路整備	孤立集落解消の道路等の整備
	地域包括ケア推進本部	<input type="checkbox"/> 地域住民の包括的・一体的なケアシステムの構築	復興公営住宅コミュニティ形成 見守り活動

5

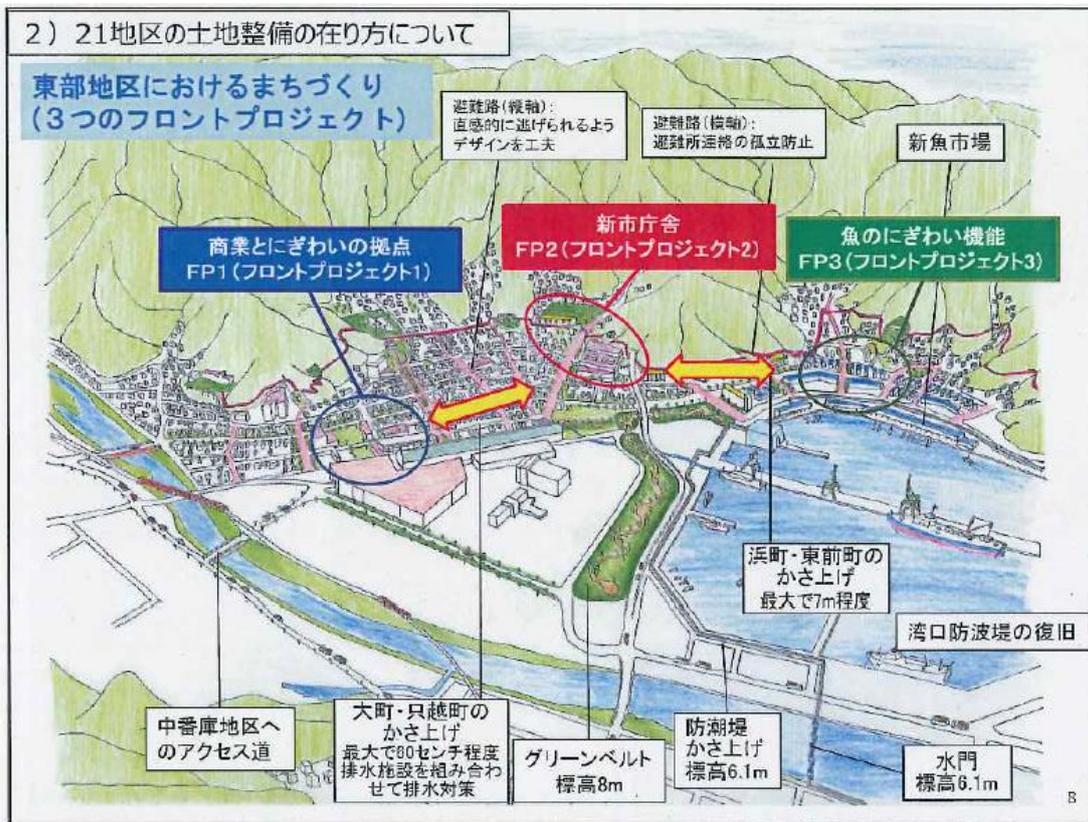
目次

- 1) 釜石市の被災状況
- 2) 21地区の土地整備の在り方について
- 3) 主な事業の進捗・課題について
- 4) 今後の新たな取り組みについて

2) 21地区の土地整備の在り方について

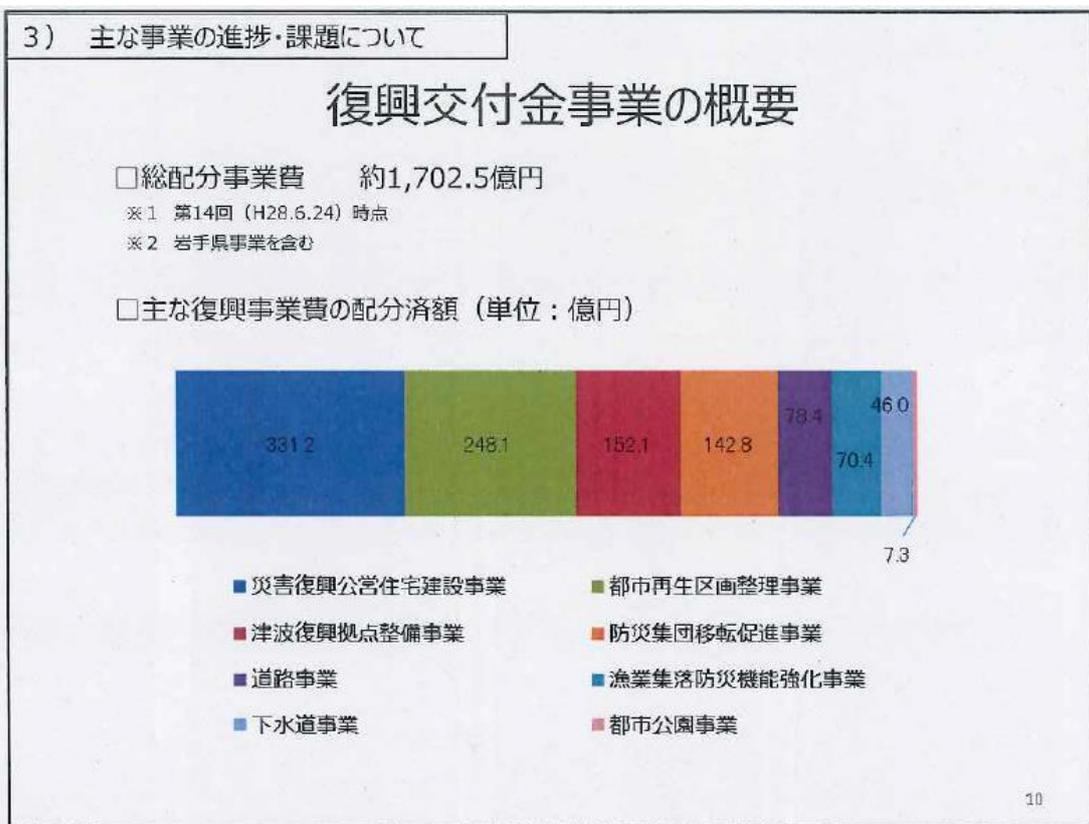
被災した21地区の主な復興交付金事業





目次

- 1) 釜石市の被災状況
- 2) 21地区の土地整備の在り方について
- 3) 主な事業の進捗・課題について
- 4) 今後の新たな取り組みについて



3) 主な事業の進捗・課題について

災害復興公営住宅建設事業とは？

被災した方々の安定した住戸の確保を図る。

□ 釜石市における災害復興公営住宅建設事業の状況

- 整備地区/全体整備予定数※県施工住宅を含む 22地区/1,314戸
- H26年度末引き渡し戸数 402戸（全体の31%）
- H27年度末引き渡し戸数 462戸（全体の35%）
- H28年度末引き渡し予定戸数 1,127戸（全体の86%）
- H29年度末引き渡し予定戸数 1,267戸（全体の96%）
- H30年度末全戸引き渡し予定

市内で一番戸数の多い上中島Ⅱ期住宅




11

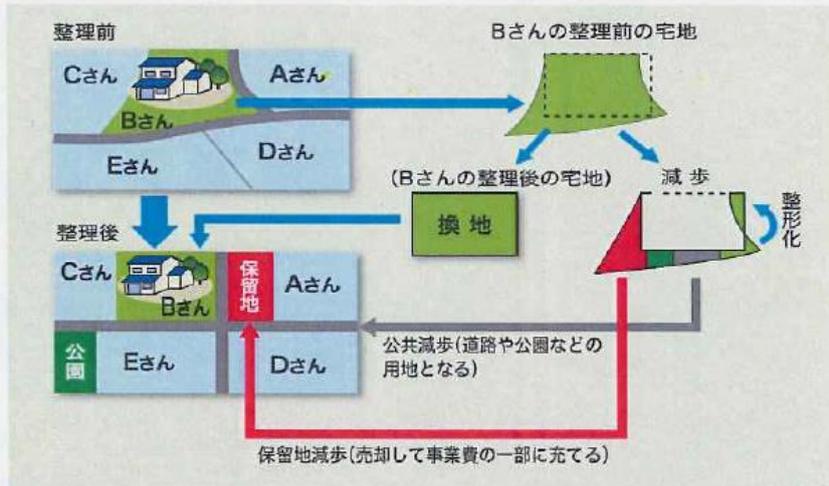
3) 主な事業の進捗・課題について

都市再生区画整理事業とは？

概要

・都市計画区域内の地域で、道路・公園などの公共施設や皆さんの土地を安全で利便性の高いものにするために、公共施設の整備改善や土地の区画形質の変更・集約化を行う。

イメージ図



3) 主な事業の進捗・課題について

□釜石市における都市再生区画整理事業の状況

-整備地区 ①片岸地区(22.7ha)、②鶴住居地区(49.2ha)、
③嬉石・松原地区(12.9ha)、④平田地区(22.7ha)

-対象区画数 1,097区画

-H26年度末引き渡し区画数 75区画(全体の7%)

-H27年度末引き渡し区画数 93区画(全体の9%)

-H28年度末引き渡し予定区画数 440区画(全体の40%)

-H29年度末全区画引き渡し予定

-H30年度事業完了予定

かさ上げをしながら宅地・道路・下水道等を整備(嬉石・松原地区)



3) 主な事業の進捗・課題について

防災集団移転促進事業 漁業集落防災機能強化事業とは？

防災集団移転促進事業

漁業集落防災機能強化事業

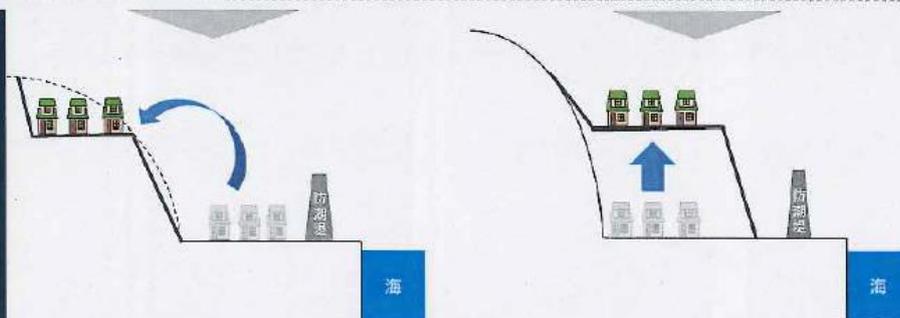
概要

・災害の危険の恐れがある地域から住宅を移転するために、高台や造成地などの住宅団地を整備。
・移転元の土地は住宅地としては利用不可。

・漁業集落において、安全安心な居住環境を確保するための地盤かさ上げ、生活基盤や防災安全施設の整備等を実施。

ほとんどの集落で両事業を組み合わせる整備

イメージ図



14

3) 主な事業の進捗・課題について

□釜石市における防災集団移転促進事業及び 漁業集落防災機能強化事業の状況

- 整備地区 13地区（うち防災集団移転促進事業11地区）
- 対象区画数 219区画（自力再建区画数）
- H26年度末引き渡し区画数 4区画（全体の2%）
- H27年度末引き渡し区画数 68区画（全体の31%）
- H28年度末引き渡し予定区画数 149区画（全体の68%）
- H29年度末全区画引き渡し予定

高台移転が完了し花露辺地区



15

3) 主な事業の進捗・課題について	
釜石市における現在の課題	
課題	概要・背景
復興工事の遅延	<input type="checkbox"/> 住民合意の遅れ（全21地区合意まで2年半） <input type="checkbox"/> 難航地権者への対応（交渉に時間、設計変更など） <input type="checkbox"/> 再建意向の変化に伴う設計変更等 <input type="checkbox"/> 着工後に生じた事象への対応（軟弱地盤、他工事との調整等）
人手不足	<input type="checkbox"/> 膨大な事務量に対し、市職員が大幅に不足 <input type="checkbox"/> 雇用のミスマッチ（土木・建築の専門職やドライバー、水産加工業、サービス業で不足が深刻な一方、事務職に求職が偏重）
被災者の再建意向把握	<input type="checkbox"/> 過去2回にわたる住宅再建意向不明者・未定者への対応 <input type="checkbox"/> 昨年秋時点で、意向不明者が被災4,000世帯中約1,000世帯 <input type="checkbox"/> 電話、訪問等による地道な意向把握と再建に係る情報提供により、現時点で不明・未定合わせて約100世帯未満までに減少 <input type="checkbox"/> 被災者台帳システムによる住民の追跡困難
事業者の事業再建	<input type="checkbox"/> 後継者不在、販路喪失、資金不足等による再建困難 <input type="checkbox"/> 再建ではなく、仮設店舗での営業を継続する事業者への対応
コミュニティの再生	<input type="checkbox"/> 内陸の復興公営住宅における自治会づくり支援（今年度本格化） <input type="checkbox"/> 公営住宅・仮設住宅コミュニティと既存町内会との接続・融合 <input type="checkbox"/> 退去者増、復興工事に伴う仮設住宅の廃止・集約化 <input type="checkbox"/> 孤立死や住民トラブル等への対応

17

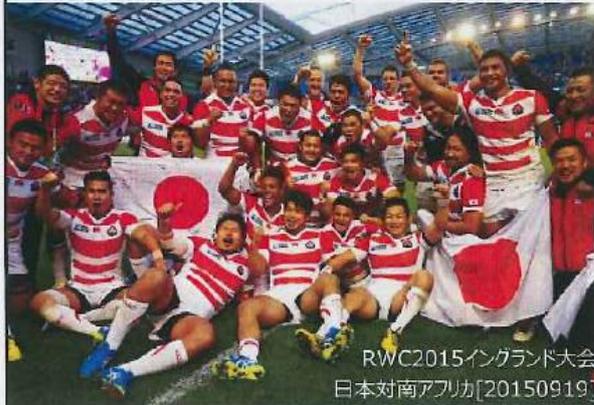
目次
1) 釜石市の被災状況
2) 21地区の土地整備の在り方について
3) 主な事業の進捗・課題について
4) 今後の新たな取り組みについて

18

4) 今後の新たな取り組みについて

ラグビーワールドカップ2019釜石開催

- ・2019年RWCの開催地が平成27年3月に決定し、釜石市をはじめとする熊谷市や東大阪市、神戸市などが選出。
- ・釜石市は、RWCの試合を復興のシンボルとし、将来を担う子どもたちに夢と希望を与えるために立候補。
- ・開催地として、スタジアム整備を進めているのが、市内でもっとも被害の大きかった鵜住居地区。
- ・今後、気運の醸成と財源の確保、推進体制の整備が課題。



4) 今後の新たな取り組みについて

橋野鉄鉱山、世界遺産登録

- ・釜石市は、盛岡藩士・大島高任が鉄鉱石を原料として洋式高炉を用いて鉄の連続生産に成功した日本の近代製鉄発祥の地。
- ・釜石市の北西部に立地する橋野鉄鉱山（橋野高炉跡及び関連遺跡）は、幕末から明治期にかけて日本の産業化の先駆けとなった重工業分野（製鉄・鉄鋼、造船、石炭）における産業遺産群「明治日本の産業革命遺産の構成資産として、平成27年5月4日にはイコモス（国際記念物遺跡会議）から世界遺産一覧表への記載が適当と勧告。
- ・平成27年7月5日、資産の立地する8県・11市でユネスコ世界文化遺産への登録。



4) 今後の新たな取り組みについて

オープンシティ釜石

- ・これまでの役所の概念にとらわれず、外部人材を積極的に登用し、復興を加速
- ・今後は、復興フェーズの進捗により、『復興』から『地方創生』へ

UBSグループ・RCF復興支援チームとの共同宣言

「釜援隊」外部人材との良質な交流



研修資料

ラグビーワールドカップ

2019 釜石開催について

ラグビーワールドカップ2019釜石開催について

釜石市は、岩手県の南東部、三陸復興国立公園の中心に位置し、88%が山地の北太平洋をのぞむリアス式海岸の港町、自然に恵まれた魚の街、近代製鉄発祥の鉄の街、そしてラグビーの街です。

1960年代の10万人近い人口が、鉄鋼不況と高炉の休止により減少。さらに市内の死者行方不明者1,040人に上る東日本大震災の影響下で減少傾向が続いています。

2011年復興まちづくり基本計画を作成し、街の再建再生に取り組む中で、ラグビーワールドカップ2019開催を通じ、復興の目標達成を遂げ、世界中の支援に感謝を表明するとともに、“スポーツの力”による地域の創生に挑みたいと考えます。

人口36,598人(0～14歳10.5%、15～64歳54.9%、65歳～34.6%)、17,086世帯、面積441.4km²
 (H26.7現在 比較:横浜市 人口370万人、面積438km²)

Kamaishi is a fantastic rugby town.



2011
2015
2007
2003
199
199
158
196
194
193
198
198
1970
197
1970

KAMAISHI

釜石の連帯意識はラグビースピリットの賜物 ～選手の復旧支援、全世界からの支援～



安全で守られる場所
～水門、防潮堤2018年完成～



鶴住居川河口に水門と
セットで防潮堤を設置
整備高さT.P.(標高)14.5m
※現況防潮堤高さ標高6.4m
(約8.1mのかさ上げ)



防災を象徴する場所 ～小中学校生徒600人が一緒に駆けて逃げたシンボリックな場所～

Oct. 2007



March 11th, 2011

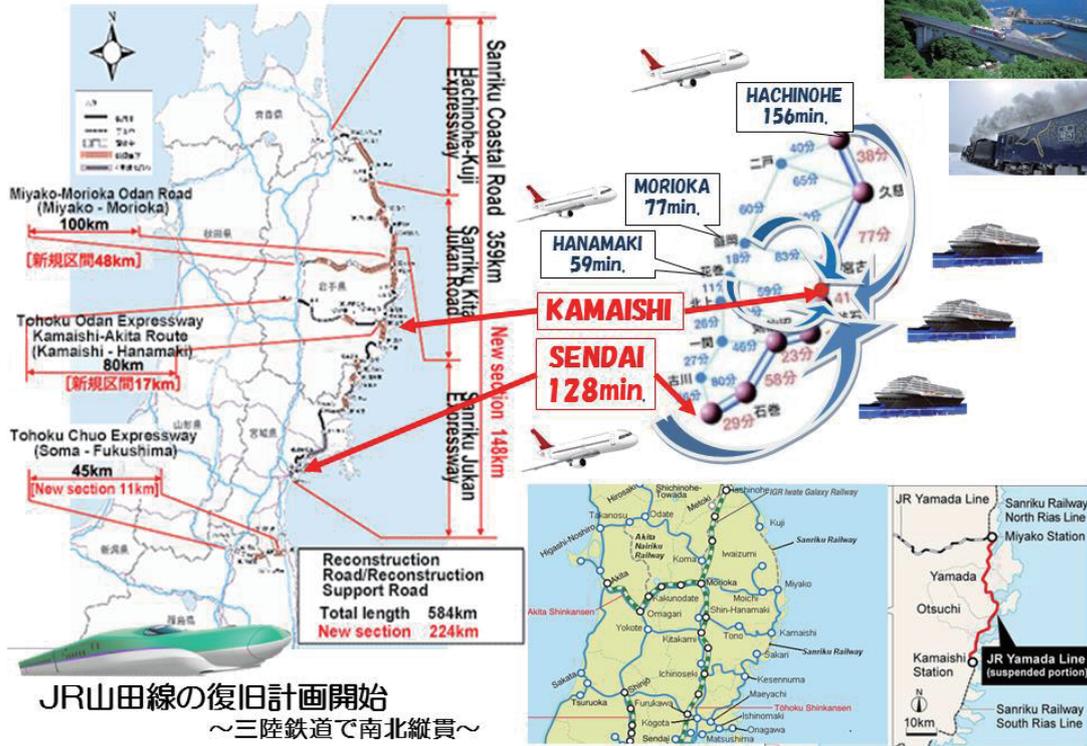


- 釜石市では学校管理下の児童生徒約3,000人が、臨機応変に避難して助かった。
- 震災時点の小中学生の死亡は5人
- 釜石市内の死亡者888人、行方不明者152人。

- 手に手をとって逃げて助かった鶴住居小・東中の生徒たちを含めて、子供たちの率先避難行動は、世界中に広く紹介された。



震災復興道路の整備によりアクセス向上 ~2018年完成~



JR山田線の復旧計画開始
~三陸鉄道で南北縦貫~

ラグビーワールドカップとは

ラグビーワールドカップは、4年に一度、ラグビー世界一を競う地球規模の大会です。

開催国、開催地の文化や魅力をグローバルに紹介できる国際的イベントです。

2015年大会はイングランドで開催されます。

日本ラグビーにとっても、世界のラグビーにとっても記念すべき大会となります。

2019年はアジア初、ラグビー伝統国以外で初の日本開催です。

2011年ニュージーランド大会には国内外からの観戦者が約13万人でした。

試合開催地となった街は国内外への知名度を高め、それ以降の観光客も増えました。

世界207の国で約40億人がテレビ観戦しました。

2016 Olympics Rio de Janeiro リオデジャネイロ五輪では7人制ラグビーが知られます。

世界のラグビー大会 [2010~2020]

予選を勝ち抜いた20か国が約10会場で48試合を行うため、6週間もの期間を要します。

RWC 2010 South Africa

RWC 2011 New Zealand

RWC 2015 England

RWC 2016 Olympics Rio de Janeiro

RWC 2019 Olympic Japan Tokyo

RWC 2020 Olympic Japan Tokyo

Pool	Team	Pool	Team
A	Argentina	D	France
B	Canada	E	Italy
C	Chile	F	Japan
		G	South Africa
		H	Wales
		I	Zimbabwe

市民の応援と地域への根付き

<RWCタウンミーティングの開催>

- 2012年6月1日(金) シーブラザ遊(イベントテント)
ゲスト:平尾誠二氏ほか 参加約70名
- 2013年1月11日(金) UR都市機構・鶴住居事務所
ゲスト:小笠原満男、石山次郎ほか 参加約100名
- 2013年3月30日(土) ホテルサンルート釜石
ゲスト:千田美智仁、高橋博行ほか 参加約70名

- <市内商店会でフラッグの掲揚>2012年
中妻中央通り、上中島、鈴子町
と流通経済大学ラグビー部
鶴住居仮設商店街と立教大学ラグビー部
青葉仮設商店街
天神仮設商店街
と新日鉄金本
社ラグビー部
鶴住居地区国道沿い
鶴住居地域会議

<RWC紹介液晶看板>

- 2012年12月12日(水) シーブラザ釜石、ホテルサンルート釜石、2013年2月6日(水)岩手銀行、のぞみ病院
- <小学生へのRWC誘致アイテム配布> (マスコットストラップ・クリアファイル・ブックレット) 2013年2月

- <ラグビーカフェ・クレスト鶴住居>2013年9月オープン RWC紹介、英会話教室、手芸教室、ハロウィン、Xmas子どもイベント
- <SW公式戦応援イベント>2013年10月5日 <2019cmロールケーキアクション>2014年1月18日冬の味覚祭り

ラグビーワールドカップ2019開催都市候補地公式視察 釜石市視察報告

日程:平成27年1月12日(月・祝)13:00~16:00

場所:宝来館 及び 鶴住居会場予定地

視察団構成:9名(敬称略)

Alan Gilpin アラン・ギルピン (Head of Rugby World Cup)他2名

RWC2019組織委員会

伊達亮 事業部長他5名



スケジュール:

10:37 新花巻着 (はやぶさ101号 仙台発)

出迎え 岩手県 千葉 茂樹 副知事、
岩手県ラグビー協会 白根 敬介 会長

バス移動

13:00頃 宝来館着

出迎え 釜石市 野田 武則 市長、
岩手県 佐々木 和延 沿岸広域振興局長他
記念写真撮影後、ミーティングルームへ

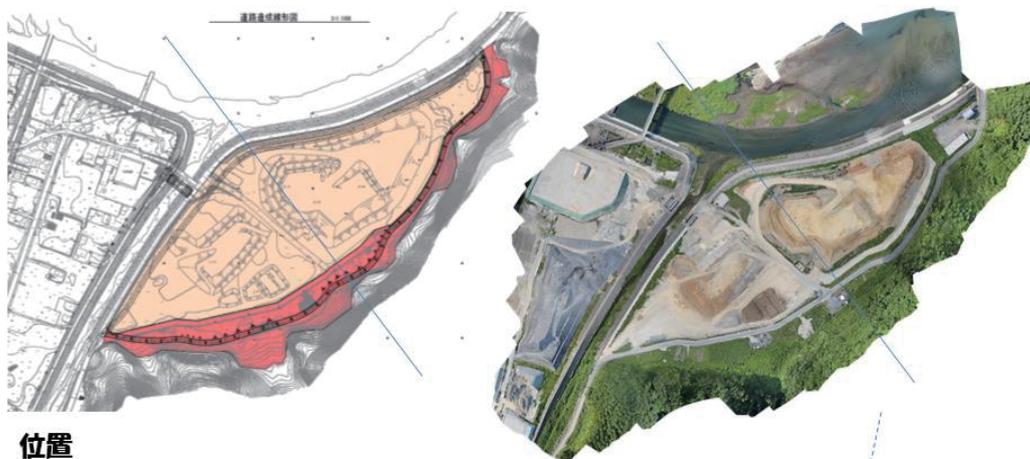


<ミーティング内容>

- ・プレゼンテーション(20min)
- ・スタジアム仕様模型説明(20min)
- ・Q&A(20min)
- ・スタジアム予定地視察(30min)
- ・宝来館に戻って総括(1h)

15:30頃 宝来館発 仙台までバス移動





位置



断面図





◎事業費と財源の見通し

事業区分	概算費(百万円)	概算見通し
敷地造成(盛り土・排水・公園整備・上下水道整備など)	1,655	復興交付金(震災復興特別交付税含む)
サブグラウンドなど	144	国土交通省社会資本整備総合交付金
常設スタンド・グラウンドなど	904	日本スポーツ振興センターtoto助成(申請中)
仮設スタンド・仮施設など	465	岩手県は仮設分に応分の負担(調整中)。さらなる財源なども模索
その他(基本設計委託費、移転補償調査費)	30	
合計	3,198	

◎施設整備のスケジュール

	2015 H27年度	2016 H28年度	2017 H29年度	2018 H30年度	2019 H31年度
基盤整備	盛り土・排水				
公園整備		公園整備			
建物整備	設計・整備				仮設整備
環境整備		上下水道			





スポーツ基本法

スポーツの力で 日本を元気に！

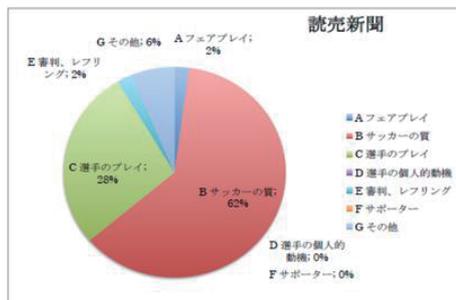
平成23年法律第78号
平成23年6月24日公布
平成23年8月24日施行



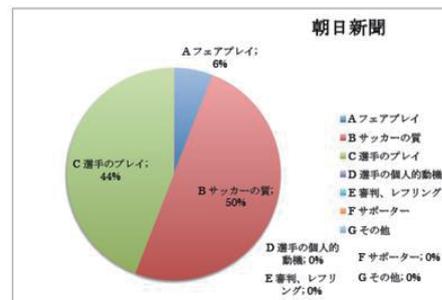
スポーツは、 世界共通の人類の文化である

スポーツ基本法の前文は、この言葉から始まります。
前文では、スポーツの価値や意義、スポーツの果たす役割の重要性が示されています。

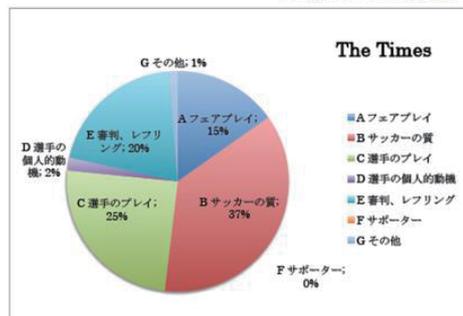
- スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利
- 全ての国民がその自発性の下に、各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会を確保
- スポーツは、次代を担う青少年の体力を向上。他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響
- スポーツは、人と人、地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成し、地域社会の再生に寄与。心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たし、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠
- スポーツ選手の不断の努力は、人間の可能性の極限を追求する有意義な営み。国際競技大会における日本人選手の活躍は、国民に誇りと喜び、夢と感動を与え、国民のスポーツへの関心を高める。これらを通じて、我が国社会に活力を生み出し、国民経済の発展に広く寄与
- スポーツの国際的な交流や貢献が、国際相互理解を促進し、国際平和に大きく貢献するなど、スポーツは、我が国の国際的地位の向上にも極めて重要な役割



グラフ 1 [テキスト分析結果:読売新聞]



グラフ 2 [テキスト分析結果:朝日新聞]



グラフ 3 [テキスト分析結果:The Times]



グラフ 4 [テキスト分析結果:The Guardian]

慶應義塾大学薬谷郁美(わらかいしくみ)研究室 環境情報学部太田達介(おおたりのすけ)「スポーツメディア比較」(2013年学士論文)
2010年7月11日、南アフリカサッカーワールドカップ決勝戦直後の記事比較

RWC2019に向けたRWC2015公式視察報告

9月18日-10月31日 <視察期間：2015年9月17日～25日> <視察都市：ブライトン、グロスター>

■RWC2015公式視察【5開催都市】20名 参加者リスト

番号	所属	氏名	所属	役職
1	岩手県	小田 豊	MR	政策推進室
2	岩手 釜石	川崎 文則	MR	ラグビーワールドカップ推進室
3		増田 久士	MR	
4		西村 実	MR	
5	埼玉 熊谷	半田 博幸	MR	スポーツ振興課
6		熊谷市	鯨井 憲昭	MR
7	大阪 東大阪	奥井 幸史	MR	花園ラグビーワールドカップ2019推進室
8		徳山 智紀	MR	
9	福岡県	福田 洋一郎	MR	県民文化スポーツ課
10	福岡	中島 賢一	MR	スポーツ事業課
11	福岡商工会議所	松岡 公法	MR	企画広報グループ
12	熊本県	後藤 啓太郎	MR	観光課国際スポーツ大会推進班
13	熊本県	馬淵 隆幸	MR	体育保健課スポーツ振興係
14	熊本市	岩野 良彦	MR	スポーツ振興課
15	JR 2019	山下PMC	MR	建築コンサルタント
16		菅原 心太	MR	
17	事業部	中村 慶	MR	-
18	RWCL	Jessica Kenny	MS	-
19		George Blake	MR	-
20	通訳	グリーン 裕美	MS	-



MATCH SCHEDULE

DATE	FIXTURES	TIME
Sat Sept 19	South Africa v Japan	16:45
Sun Sept 20	Samoa v USA	12:00

ブライトン・アンド・ホヴ
87.5km²、27万人(ブライトン15.5万人)
ロンドンから80km

Brighton



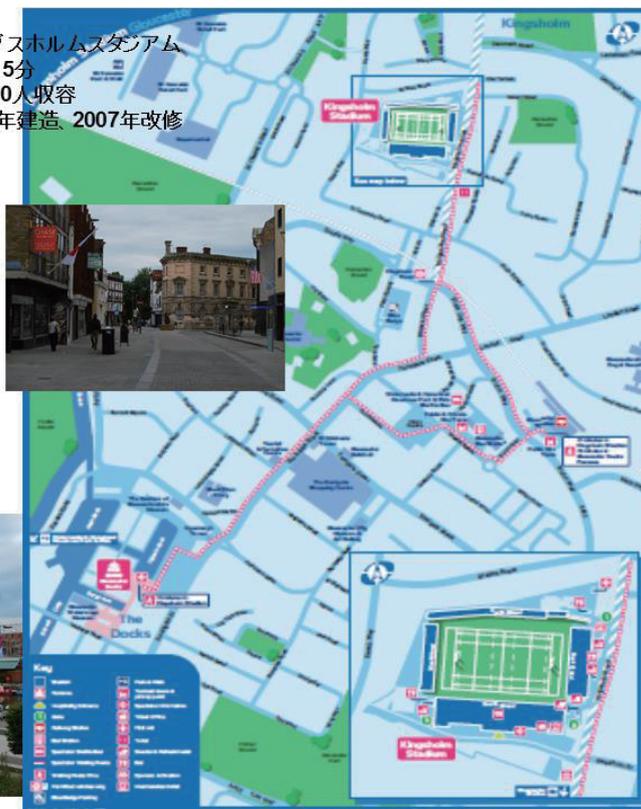
コミュニティスタジアム
電車10分、バス25分
22,374人収容(12,000人がホスピタリティ対象)
2011年建造





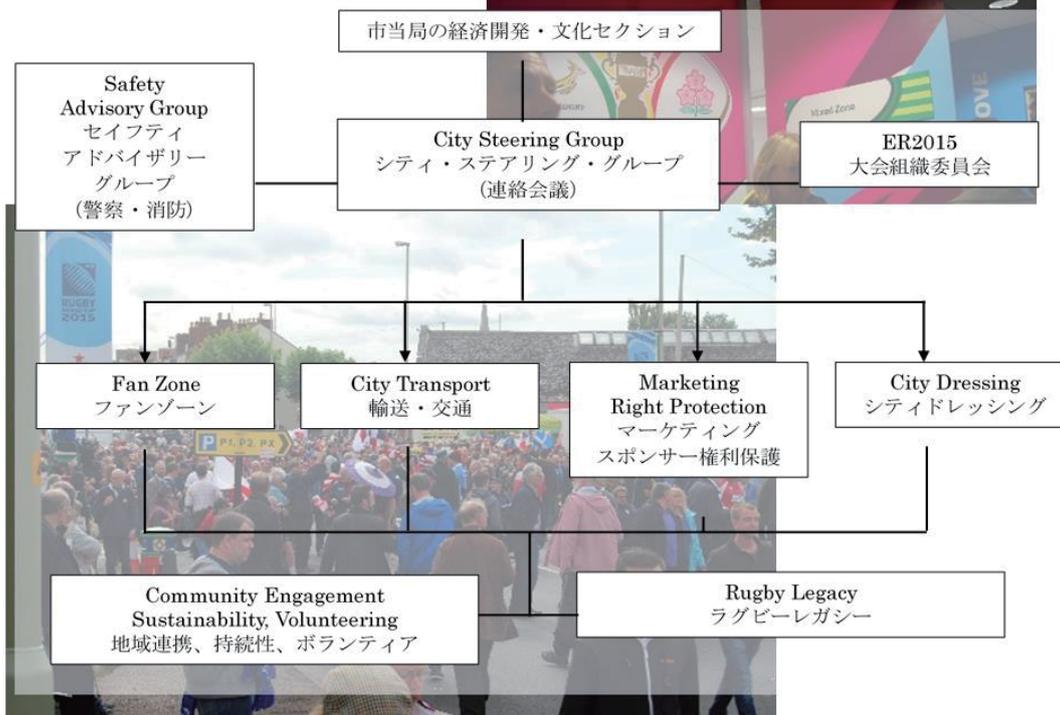
Gloucester

キングスホルムスタジアム
徒歩15分
16,500人収容
1891年建造、2007年改修



City Organization

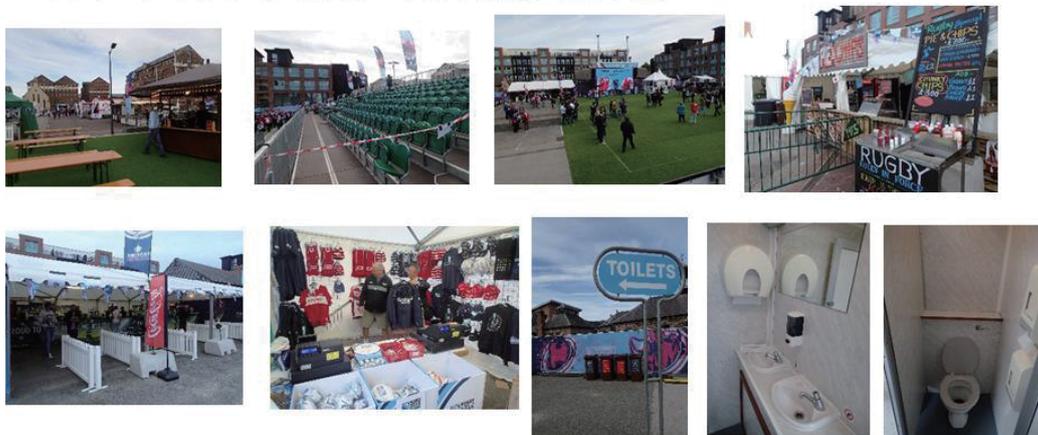
予算: プライム36百万円、グロスター64百万円



Fun zone

グロスターのファンゾーン

- ・市のシンボルのドッグ跡に設置して3千人収容のスペースで11日間の開催。
- ・グロスターでの試合とアイルランド、スコットランド、イングランド、ウェールズの試合を主に上映する。
- ・ファンゾーンのデザイン構想は2年前の会議から始めた。



- ・最初は大きなテントにたくさんのスクリーンというアイデアだったが、スタジアムのような雰囲気づくりとして、ラグビーフィールドを持ち込んだようなファンゾーンとした。
- ・グロスターの人なら誰でもわかるキングスホルムのスタンド席をならべて、さながらゴールポストのように立てた柱の間に大型ビジョンを掲げた。
- ・子どもたちの遊び場となるよう人工芝を敷いて、さらに離れた場所にラグビー遊具を置いてファミリースペースをつくった。



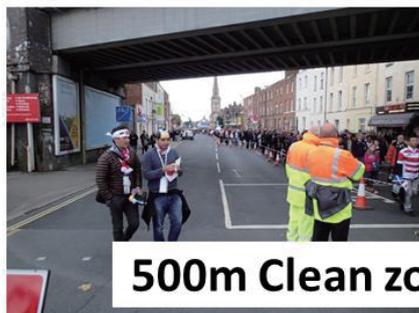
City dressing



Match Venue



Rights protection



500m Clean zone





Transportation





Volunteer programs



Community engagement



Marketing





ソーシャルキャピタル

〔定義〕

- ・社会資本、社会関係資本とも呼ぶ
- ・OECDの定義

Network together with shared norms, values and understanding that facilitate cooperation within or among others.

(norms:〔名〕社会の標準様式、規範) (facilitate:〔動〕促進-助長-容易にする)

〔尺度・測り方〕

- ・信頼度、社会参加度、交流度を調査
 - * 落とした財布の回収率
- ・寄付共同募金、献血指数

〔調査研究事例〕 日本

- ・大阪大学国際公共政策研究科、山内直人教授
2003、市民活動インデックス、社会奉仕ボランティア指数、
熊本・沖縄・宮崎で高く、千葉、愛知、茨城で低い
- ・内閣府→日本総合研究所 三井住友
2003、2007、郵送WEB、
相互扶助、近所付き合い、社会参加
失業率、犯罪率、出生率、平均寿命、企業率との相関関係

教育哲学、社会思想 1899ジョン・デューイ(米)、1972ピエール・ブルデュ(仏)、
1990ジェームス・コールマン(米)
1991-1995 109論文 → 1996-1999 1003論文
アメリカ社会学：地域コミュニティの衰退、過度な個人主義への反省

スポーツ資本の特性

特性	天然資源	歴史資源	物的資本	人的資本	社会関係資本	スポーツ資本
他の生産要素と柔軟に組み合わせられるか？	困難	可能*	事前には可能	比較的可能	可能なことも	可能
目的以外の用途に役に立つか	余り立たない	工夫の余地	余り立たない	時として	しばしば	しばしば
償却率は安定しているか？	安定	増価も	安定	ほぼ安定	不安定	ほぼ安定
使い続けると強化されることがあるか？	使いと減る	しばしば	ない	時々	しばしば	しばしば
突然陳腐化することがあるか？	ない	ない	ない	余りない	ある	余りない
生産性の抑制要因になることがあるか？	余りない	時として	ない	ない	ある	時として
(不要の累贅わずにすむか？)	ほぼすむ	(遺跡発見)	すむ	すむ	すまないことも	すむ
総量(集計量)がどの程度意味があるか？	余りない	ある程度ある	ある程度ある	ある程度ある	あまりない	ある程度ある
(一次元的概念か？)	(種類毎)	(集客力)	資本ストック	資源豊後労働力	(**)	インバウンド

* 歴史資源と社会的資本とをうまく組み合わせると、相乗効果が期待できる場合も。

** 例えば、「ロミオとジュリエット」(町が二つの勢力に分断されて、相互に反目)

歴史資源と社会関係資本は、「使い減りしない」という共通点

大守隆(おもりたかし)「社会資本(ソーシャル・キャピタル)の概念と地域再生における意義」
(2011年、文部科学省 科学技術・学術審議会 資源調査分科会)

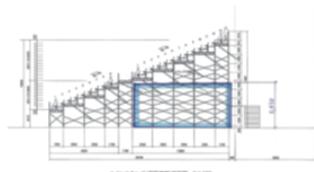
「スポーツの力」と「防災避難の知恵」を活かしたダイバーシティスタジアム計画

- ☆スポーツ大会・合宿
 - ・ラグビー、サッカー、陸上etc
 - ・女子・ジュニア大会
 - ・ベスト8以下のブラッシュアップ大会
 - ・ラグビーレガシー体験
- ☆地域のスポーツ大会、健康づくりメニュー

- ☆グリーンツーリズム
 - ・農業漁業体験
 - ・自然教室
- ☆ボランティアツーリズム
- ☆地域暮らし体験ツアー、インターンシップ
- ☆クリーンエネルギー体験ツアー



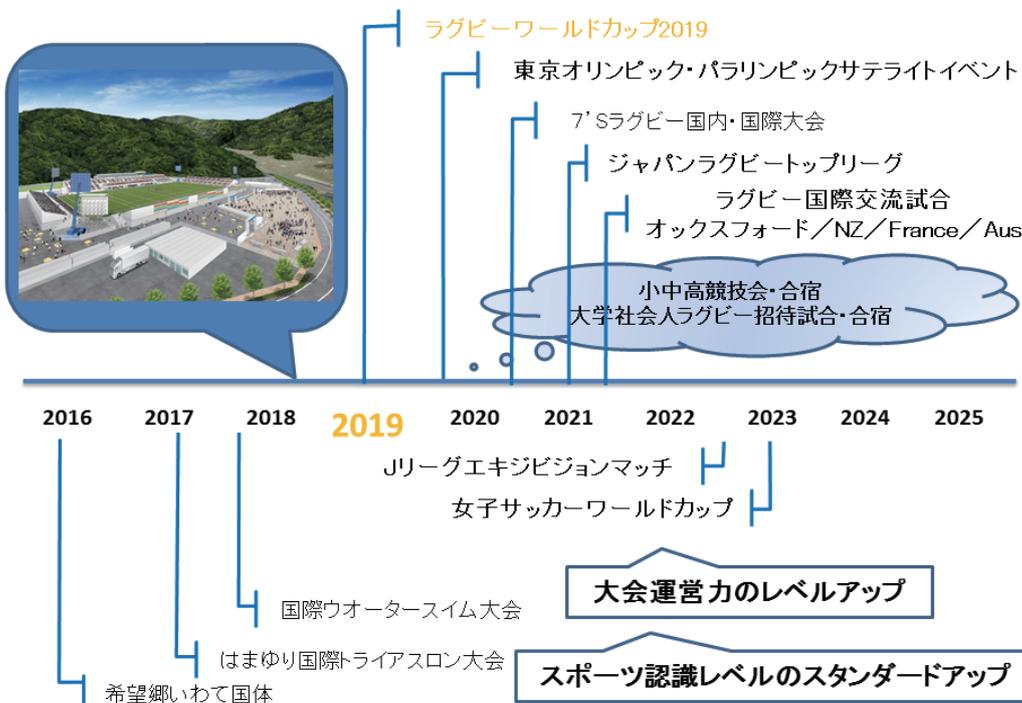
- ☆防災避難体験ツーリズム
 - ・震災の夜を疑似体験
 - ・防災備蓄品を見学
 - ・緊急電源機器、通信機器を試用
 - ・緊急出動車、ヘリetc見学試乗
- ☆率先避難行動の体験
 - ・鶴住居小・東中避難ロード走破



- ・メインスタンドに常設施設を追加。低スペックの倉庫スタイル
- ・大会時はメディアセンターとして利用。
- ・大会後は防災備蓄倉庫と簡易宿所に利用。
- ・常設スタンドを1,000席→2,000席で、イベント効率をアップ。



国際大会・全国大会誘致開催による地域成長



RWC2019釜石開催と大会後のスポーツ資本を地域創生の力に



やる気のある若者、外からきた人たちが、積極的にまちづくりに参加。新たな可能性にチャレンジできる環境づくりとなるRWC2019開催。

三陸沿岸の豊かな自然環境と地域資源を活用。スポーツ施設とスポーツを通じた交流人口を活かした地域創生の取り組み。

「ラグビーワールドカップ2019開催による経済波及効果」 (株)日本政策投資銀行

経済波及効果は、各開催都市に来訪した観客が域内（各都道府県内）で消費することにより発生する「直接効果」と、直接効果に誘発される「間接波及効果」の合計。

ラグビーワールドカップ2019 全国12会場 48試合分

直接効果	1次波及効果	2次波及効果	経済波及効果計
1,422億円	528億円	380億円	2,330億円

ラグビーワールドカップ2019 九州3試合分

直接効果	1次波及効果	2次波及効果	経済波及効果計
210億円	83億円	57億円	350億円

ラグビーワールドカップ2019 釜石3試合分

直接効果	1次波及効果	2次波及効果	経済波及効果計
60億円	21億円	19億円	100億円

直接効果計算式 観光庁データによる消費支出予測35億円+スタジアム整備費25億円=60億円

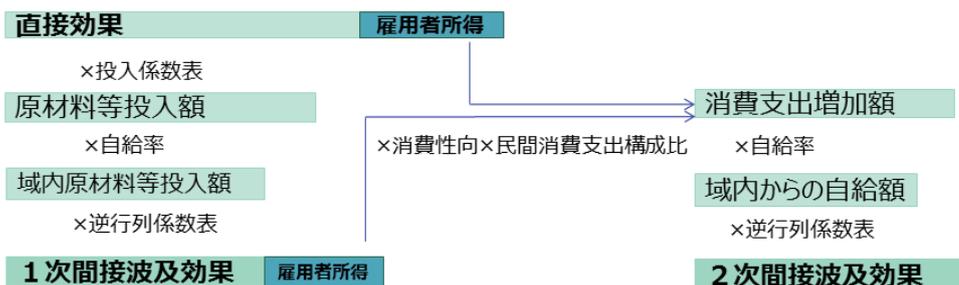
来場者/試合	3試合延べ(①)	滞在日数(②)	宿泊費/日	飲食費/日	交通費/日	娯楽・立寄り/日	その他/日	消費支出合計/日(③)	①×②×③
海外(宿泊)	9,600人	9	5,757	4,069	2,059	6,745	510	19,140	1,653,696,000
国内・県外(宿泊)	7,860人	9	4,653	2,075	3,326	2,111	1,437	13,602	962,205,480
国内・県外(日帰り)	9,300人	3	0	1,255	2,254	2,015	1,528	7,052	196,750,800
国内・県内(宿泊)	5,055人	6	5,692	2,510	4,023	2,554	1,738	16,517	500,960,610
国内・県内(日帰り)	16,185人	3	0	823	1,478	1,321	1,002	4,624	224,518,320
合計	48,000人							(単位:円)	3,538,131,210

経済波及効果算出の考え方・間接波及効果

間接波及効果は、直接効果に伴う原材料等の購入（投入）によって誘発される財・サービスの生産額である「1次波及効果」と、直接効果や1次効果による雇用者所得増加により消費支出が増加することで誘発される財・サービスの生産額である「2次波及効果」の合計として算出。

1次波及効果：直接効果に伴う原材料等の購入（投入）によって誘発される財・サービスの生産額

2次波及効果：直接効果や1次効果による雇用者所得増加により消費支出が増加することで誘発される財・サービスの生産額



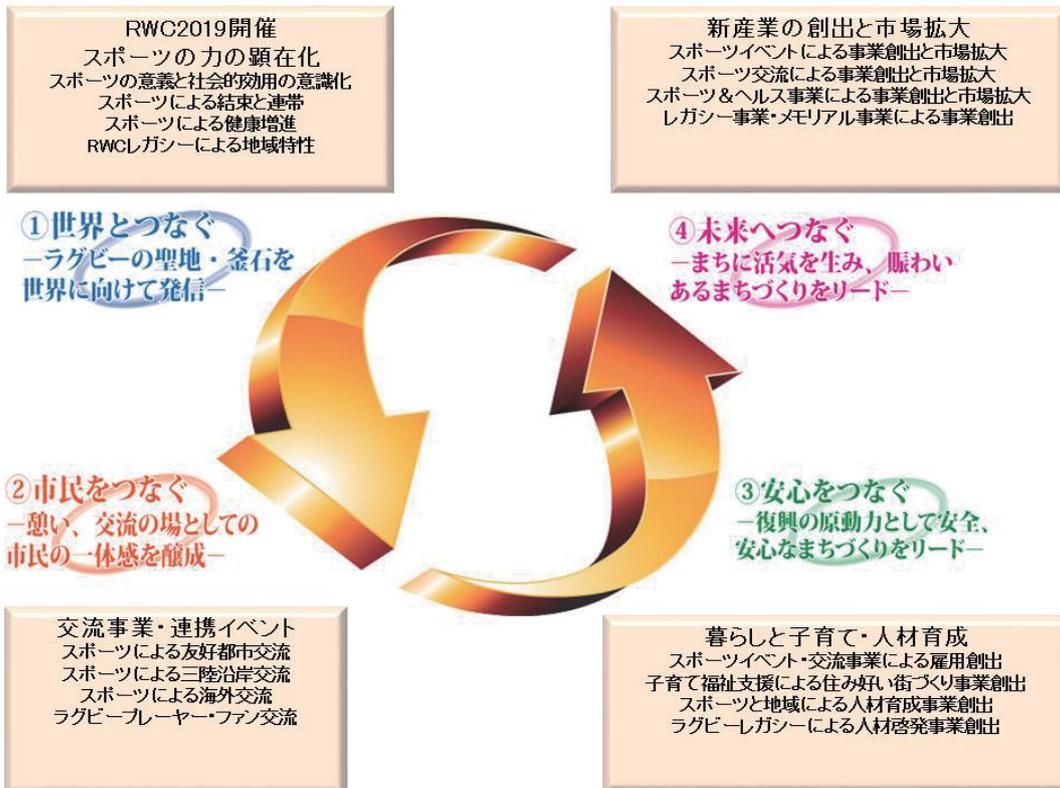
ラグビーワールドカップ2019経済効果 オプティミストとペシミスト

- 前項の算出プロセスに基づき経済波及効果の試算を行い、全国12会場で計48試合が実施された場合、直接効果が1,422億円、1次波及効果が528億円、2次波及効果が380億円で合計**2,330億円の経済波及効果**が見込まれる試算結果となった。
 - 期間中、48試合トータルに来場者数を**約200万人**、うち**海外**からの来場者数を**約41万人**と想定している。
- <参考>「ラグビーワールドカップ2019**組織委員会**」は大会の経済効果を全国で9.9～16.4億ポンド（**1,680～2,780億円**）と想定。

- 過去大会からみてもRWCの海外からの観戦客は比較的**富裕層**が多いと言われており、RWC2019においても、各開催都市は大会期間中の観光**消費単価のアップ**が期待される。
- 観光庁の調査によると、平成27年訪日**外国人**の1人1回あたり**平均旅行支出は176,167円/人**であるところ、RWC2019で海外からの観戦客が期待される地域（ヨーロッパ、オセアニア地域）は、例えば**英国**からの訪日外客が**210,681円/人**、**オーストラリア**からの訪日外客が**231,349円/人**など、訪日外国人の平均旅行支出を上回る国からの訪日外客である。
（出所：観光庁「訪日外国人の消費動向（平成27年年次報告書）」）

- RWC2019の各開催都市は、大会開催に伴う**富裕層のインバウンド獲得**により、ソフト面・ハード面それぞれでの**受入ノウハウ、おもてなし方策等**を身に付けることができる。
- RWC2019終了後も、大会開催時の**経験・ノウハウ**を活かして**引き続き海外からの富裕層観光客やビジネス客を受け入れ**、継続的に経済波及効果を楽しむことも可能。
- 結果的に、**インバウンド需要の獲得において優位に立てる**可能性もある。

	2016年				2017年				2018年				2019年		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
開催気運醸成 (盛り上げ策)			県 RWCポロシャツ 県 バックパネル												
			市 ゲスト招待タウンミーティング												
			市 代表戦、サンウルヴス戦パブリックビューイング												
			支援連 出張ラグビーカフェ												
受け入れ態勢 (おもてなし)				県 指差しガイド 県 インバウンドおもてなしセミナー											
			市 英会話コーチ講習会												
			市 飲食店おもてなし講習会												
			民間 中学生英会話ボランティア講習会												
プロモーション (誘客推進)				県 未訪者の周遊コース整備 航空、JR、船舶、旅行会社とのタイアップ											
			民間 ラグビーツアー												
			民間 自然体験ツアー												
レガシープログラム (ラグビーのまち釜石、ラグビー王国いわて)				県 復興支援試合											
			民間 復興育成大会												
			市 中学生・放課後ラグビー教室												
			市 教職員・タグラグビー教室												
			市 NZ・AUSブリッジプログラム												



RWC2019 will impact on the progress of the reconstruction and development.



こどもたちの未来への希望の光づくりにご協力を！

釜石市ラグビーこども未来基金

基金の用途

【開催前】 ラグビーワールドカップ2019への活用

- ・フィールド造成、スタジアム建設等の施設整備
- ・開催に係る国内外へのPR・周知活動
- ・気運、おもてなしの醸成、ボランティア等養成

【開催後】 ラグビーを活用したまちづくり

- ・競技場施設の改修・維持管理
- ・ワールドカップ開催記念事業・イベント等の開催
- ・ラグビー関連事業、若年層の国際交流、人材育成
- ・(仮称)鶴住居復興広場を活用した事業等



ONE FOR ALL, ALL FOR ONE

申込み方法&受付方法

「釜石市ラグビーこども未来基金」申込書を郵送、FAX、メール等でお送りください。
申込書は釜石市ホームページ→ラグビーワールドカップ推進室からダウンロードできます。
申込書を郵送ご希望の方は、下記へご連絡ください。
釜石市総務企画部ラグビーワールドカップ推進室 ☎0193-22-2111(内線105)

口座振込...振込前に申込書をFAX送信してください。FAX: 0193-22-3606
受入口座 岩手銀行 釜石支店 (普)2081809

口座名義 釜石市会計管理者
※ 手数料はご負担ください。

現金書留...寄付金と申込書を同封してお送りください。(申込書は必ず同封願います)
※ 郵送料はご負担ください。

現金持参...申込書と現金を持参の上、釜石市ラグビーワールドカップ推進室にお越しください。(第4庁舎3階)
受領書の送付.....入金を確認後、「受領書」を郵送いたします。
現金書留、現金持参の場合も後日「受領書」を郵送いたします。
受領書は、確定申告で控除を受ける際に必要となりますので、大切に保管してください。

税制上の優遇措置について

法人の場合...法人税法に基づき、寄付金の全額を損金算入することができます。

寄付金のお礼について

○ 企業・団体で1,000,000円以上の寄付者に対し、市内で製造・加工等される商品を返礼品として進呈します。

★コースター3枚セット

特典

企業・団体等については、芳名の銘板を競技場用地内に設置します。
(団体500,000円以上・法人1,000,000円以上)



《問い合わせ》〒026-8686 岩手県釜石市只越町3-9-13
釜石市総務企画部ラグビーワールドカップ推進室
電話番号：0193-22-2111 (内線105)
E-mail：rwc2019@city.kamaishi.iwate.jp